

令和5年度 国立磐梯青少年交流の家教育事業 ボランティア自主企画事業 報告書

1 趣旨

国立磐梯青少年交流の家で活躍する法人ボランティアが主体となって教育事業を行うことにより、青少年教育ボランティアとしての自覚や自主性を育むことを目的とする。

2 期日

令和5年7月8日～10月21日（日）

3 会場

国立磐梯青少年交流の家（福島県耶麻郡猪苗代町字五輪原 7136-1）

4 参加者

11名（自主企画担当ボランティア7名、事業ボランティア4名）

5 主な活動内容

（1）ボランティア自主企画 立案（自主企画担当ボランティア：大学生2名、高校生1名）

学生が教育事業の企画を行うにあたり、まず当交流の家の企画指導専門職による事業の企画方法についての講義を受け、ねらいの立て方やプログラムの選定方法等を学んだ。その上で、事業に参加する子供たちにどのようなようになってほしいのか予想を立てさせ、そのためにどんなプログラムが必要か検討を行った。協議の結果、10月1日に「磐梯秋のワクワク森探検」を開催すること決定した。

（2）ボランティア自主企画 広報物の作成（自主企画担当ボランティア：大学生5名、高校生2名）

「磐梯秋のワクワク森探検」のプログラム内容を ZOOM 会議システムで話し合い、チラシ作成においては、参加する子供たちがイメージを持てるような表現になっているか、保護者にも日程や準備物などの見通しがもてる表記かどうか等、参加対象と同じ年齢層の子供を養育している職員から助言をもらって作成した。

（3）ボランティア自主企画 实地踏査（自主企画担当ボランティア：大学生2名）

「磐梯秋のワクワク森探検」で行うプログラムを、自主企画担当ボランティアで実際に行った。その後で事業当日の安全管理やスムーズな運営方法について話し合った。また、野外炊飯を行う中で焚き火台の使用法や食材の調理方法について確認し、制作物や野外炊飯が参加対象の発達段階やニーズに適合しているかを検討して、子供たちに分かりやすく教えるための説明方法の確認をした。



（4）ボランティア自主企画 当日（自主企画担当ボランティア：大学生3名、高校生1名）（当日ボランティア：大学生2名、高校生2名）（自主企画事業参加者：未就学児7名、小学生16名、大人18名）

「季節に合わせた体験活動を通じて家族で料理をしたり、交流の家の敷地内の森の中で収集した自然物で工作したりしながら、磐梯の自然に親しんでもらうとともに親子の絆を深める」というねらいのもと、日帰りの事業を行った。当交流の家の豊かな自然を知る散策や親子で共同作業する野外炊飯、フォトフレーム製作などのプログラムを行った。



6 事業の成果と課題

（1）成果

- 実施後のアンケートには「見通しがもてる活動で、子供たちが率先して動く姿が見られた。」「親子で参加できる森探検は新鮮でした。」といった子供の成長の発見や交流の家の豊かな自然を認知して頂いた感想が多いことから、自主企画担当ボランティアの設定したねらいを達成することができた。
- 自主企画担当ボランティアは当日ボランティアへの助言も積極的に行い、スキルアップに繋がった。

（2）課題

- アンケートの中に「トイレ休憩の時間や目安で構わないが終了時間の提示があるとよかった。」「スケジュールの都合もあるが、子供に片付けする事を教えるための時間が欲しかった。」等の記述があったことから、活動と時間の明示や休憩時間の設定、活動の片づけまでを活動としてプログラムを設定する必要があると感じた。